

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	笑うた		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ことば音楽療法や笑うたセッションなど、言語に特化した療育プログラムを実施している。	ことば音楽療法の個別レッスンは利用者全体が必ず受けられるように送迎・人員面で配慮している。 また、ことば音楽療法士同士で内容の検討、フィードバックを行っており、療育の質を高める取り組みもしている。	今後も、ことば音楽療法士同士でのレッスン内容の検討、フィードバックを継続して行い、保護者の方にもレッスンの様子などを分かりやすく伝えるようにしていく。
2	個別レッスンや集団活動など、その時のこどものメンバーに合わせて療育プログラムを決定し、効果的な支援を行っている。	ことば音楽療法の個別レッスンと集団活動は必ず毎日行い、曜日ごとにプログラムを決めるのではなく、利用者全体を見て療育に適したプログラムを職員全体で相談の上、決定している。 また、ミーティング等で子どもの様子・変化等は小さなことでも情報共有している。	集団活動の内容の幅を広げるとともに、療育的にどの面で良いのかの根拠も検討する。 全職員の支援方法の引き出しも増やすための研修や勉強会等も実施していく。
3	クリスマス会やおもちつきなどの家族参加のイベントがあり、インスタや保護者LINE等で当日の活動の様子がわかるので安心して子どもをあずけることができる	どのような療育内容が事業所内で行われているか、という不安を解消するため、保護者が見学できる個別レッスンや家族参加のイベントを導入している。 また、その際に保護者の方との支援に関する相談やお話の聞き取りもできており、支援の改善などにも反映できるようにしている。	支援内容や当日の様子をSNSや写真等を使い、個人情報保護に気を付けつつ、視覚的に伝えられるより良い手段を検討・実施していく。 事業所内で行われている療育内容が体感できるイベントなども検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域活動や地域の子供たちとの交流する機会がない	平日は、保育園や小学校からの送迎・人員確保の面から課外活動を行うのが難しい状況である。 また、土曜日は保護者見学ありの個別レッスンを行っているため、大きなイベントを設定した日以外は課外活動などで地域を交流する機会を作っていない。	今後、事業所のイベント等で地域交流ができる手段がないか、検討していく。 長期休み等で、状況を見て、公園や散歩など可能な場合は実施していくことも検討する。
2	事務所内で非常災害時の訓練が行われているか分からない	定期的に火事・地震・水害・不審者等の非常時に備えて、職員・利用児童とともに集団活動(SST)の中で避難訓練を行うようにしている。 ただ、訓練の様子が連絡帳や申し送りでも十分に伝わっており、訓練が適切に行われているか不安に感じてしまう要素はあった。	避難訓練については1日だけではなく全利用児童が受けられるように、実施期間を長くとするなどの配慮を行う。保護者の方に当日の様子が十分に伝わるように、ミーティング等で伝達方法や内容なども含め、検討していく。
3	休みの日や長期休暇中に、昼食提供ができない	調理師等の資格者がおらず、食品衛生面より安全性を考慮して、軽食のみの提供としている。 昼食の代替措置として、お弁当を保護者に作ってもらったり、お弁当を外注している。	現状、保健所の助言等もあり、軽食のみの提供を継続していく。 昼食については、食品衛生面での安全性の話も保護者の方へ丁寧に実施し、ご理解いただけるように努める。